

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 6日	
宇都宮市長 佐藤 栄一 殿	
提出者	
住 所 栃木県宇都宮市清原工業団地29番	
氏 名 宮島醤油株式会社 宇都宮工場	
工場長 野沢 隆志	
電話番号 028-667-5155	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	宮島醤油株式会社 宇都宮工場
事業場の所在地	栃木県宇都宮市清原工業団地29番
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 27.34億円
③従業員数	160名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	図1 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
図2 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	表3 参照	—
	排 出 量	表3 参照	—
	(これまでに実施した取組)		
表3 参照			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	表3 参照	—
	排 出 量	表3 参照	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の種類…硬・軟質プラスチック、ビニール、フィルム コピー用紙の分別。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙参照	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙参照	—
	(今後実施する予定の取組) ・脱水汚泥含水率の低下		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	表4 参照	—
	全 処 理 委 託 量	表4 参照	—
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	表4 参照	—
	再生利用業者への処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) ・ マニフェストの管理徹底		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	表 4 参照	—
	全 処 理 委 託 量	表 4 参照	—
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	表 4 参照	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) ・ 余剰汚泥量の削減 ・ 製品アウトの削減 ・ 電子マニフェスト導入検討		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙
(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状:前年度(2023 年度) 実績量
計画:今年度(2024 年度) 計画量

産業廃棄物の種類	単位:トン/年																			
	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻	0.30	0.50									0.30	0.50	0.30	0.50						
汚泥	2897.55	3000.00					193.17	200.00			193.17	200.00	193.17	200.00						
廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ	0.23	0.50									0.23	0.50	0.23	0.50						
廃プラスチック類	55.53	60.00									55.53	60.00	55.53	60.00						
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ	111.51	140.00									111.51	140.00	111.51	140.00						
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	9.49	12.00									9.49	12.00	9.49	12.00						
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																				
鋳さい																				
がれき類																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
合計	3074.61	3213.00	0.00	0.00	0.00	0.00	193.17	200.00	0.00	0.00	370.23	413.00	370.23	413.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

図1 宮島醤油(株)宇都宮工場 産業廃棄物処理フロー図

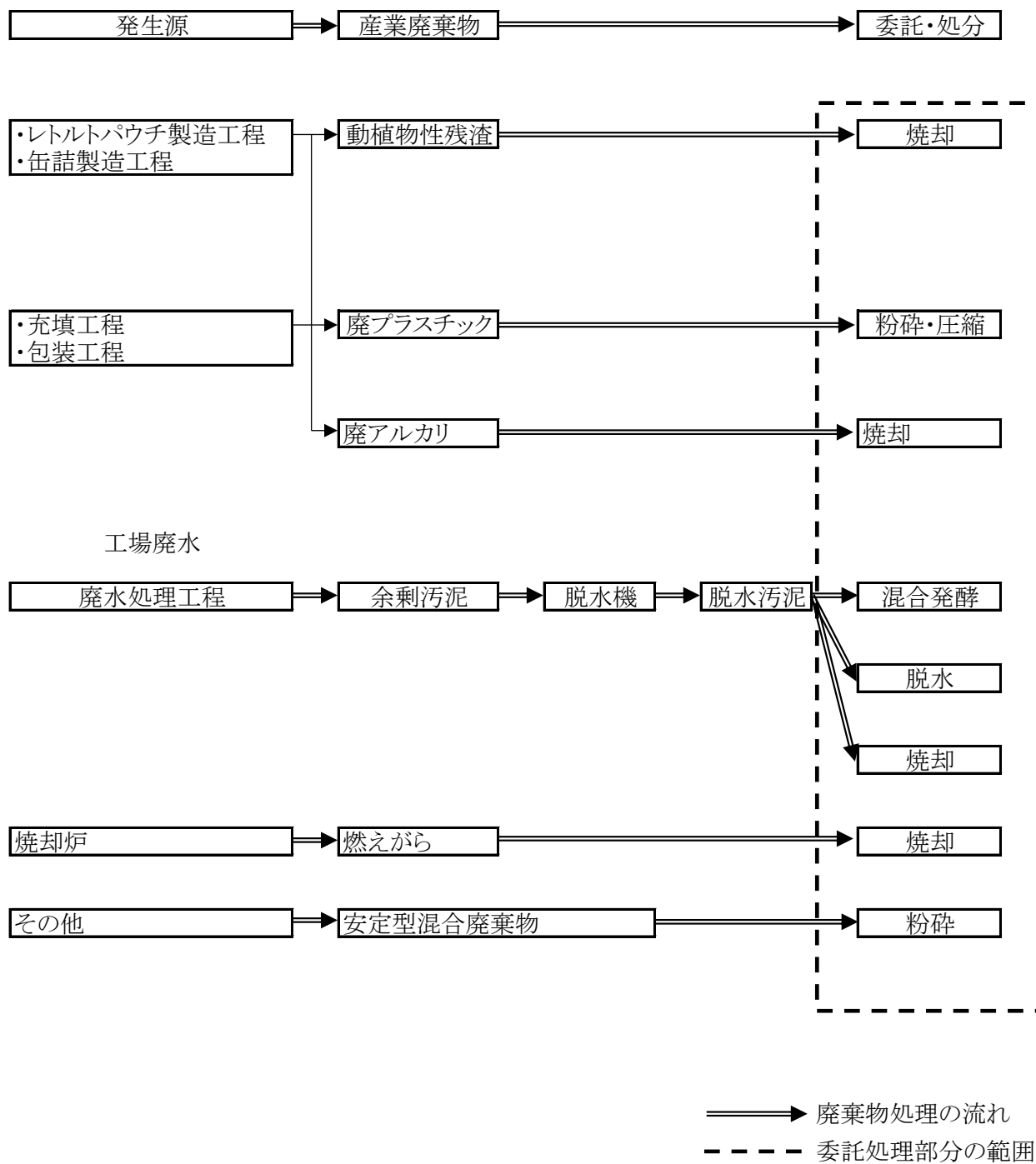


図2 管理体制図

統括責任者	宮島醤油株式会社 宇都宮工場 工場長 野沢 隆志
担当部署	製造課 工務・環境 人数 5名

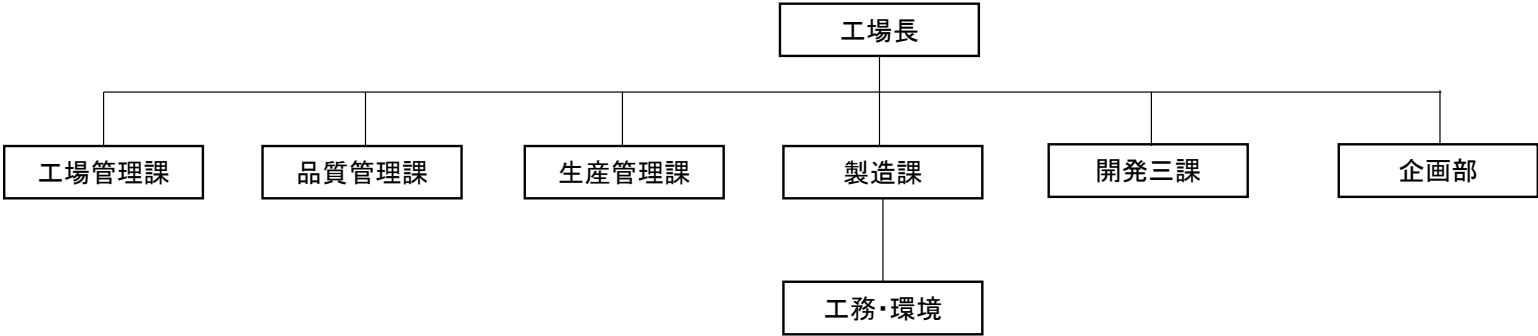


表3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	排出量実績 (R5年度実績)	排出量計画 (R6年度計画)	具体的取り組み
汚泥	2,897.55	3,000.00	汚泥の発生量抑制
動植物残渣	111.51	140.00	製品廃棄の抑制 製品アウトの削減
廃プラスチック	55.53	60.00	廃プラスチックの分別徹底
燃えがら	0.30	0.50	焼却ごみの削減 (古紙のリサイクル)
廃アルカリ	0.23	0.50	
金属くず	9.49	12.00	粗大ごみの削減

(単位=t)

表4 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	汚泥		動植物残渣		廃プラスチック		燃えがら	
	前年度実績	目標	前年度実績	目標	前年度実績	目標	前年度実績	目標
全処理委託量	193.17	200.00	111.51	140.00	55.53	60.00	0.30	0.50
優良認定処理業者への 処理委託量	193.17	200.00	111.51	140.00	55.53	60.00	0.30	0.50
再生利用業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位=t)

産業廃棄物の種類	廃アルカリ		金属くず	
	前年度実績	目標	前年度実績	目標
全処理委託量	0.23	0.50	9.49	12.00
優良認定処理業者への 処理委託量	0.23	0.50	9.49	12.00
再生利用業者への 処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0

(単位=t)